



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福山 裕二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,668	17.7	2,386	58.3	2,338	57.9	1,278	65.4
29年3月期第3四半期	12,464	△10.7	1,507	△14.0	1,481	△13.3	773	8.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,238百万円(117.0%) 29年3月期第3四半期 1,031百万円(△7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	111.41	—
29年3月期第3四半期	67.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	27,633	18,963	60.3
29年3月期	25,450	17,311	60.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 16,652百万円 29年3月期 15,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
30年3月期	—	10.00	—		
30年3月期(予想)				18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	15.1	3,000	46.5	2,900	44.8	1,500	52.0	130.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類5ページ(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	11,500,000株	29年3月期	11,500,000株
30年3月期3Q	23,104株	29年3月期	23,067株
30年3月期3Q	11,476,911株	29年3月期3Q	11,476,933株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は世界経済が緩やかな成長を続ける中、安定した為替相場や堅調な内外需により生産活動及び個人消費が活発となり、景気回復基調を辿りました。

当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な半導体需要の増大により半導体関連の電子材料、ビスフェノールの需要が好調に推移し、自動車用特殊ビスフェノールの需要も引き続き好調を維持しました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は14,668百万円（前年同四半期比17.7%増）、営業利益は2,386百万円（同58.3%増）、経常利益は2,338百万円（同57.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,278百万円（同65.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <化学品>

##### ・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、厳しい競合状況が継続したものの、売上高は前年同四半期並みとなりました。

##### ・ビスフェノール他

ビスフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー（LCP）の原料や医療分野等で使用されるポリフェニルスルホン（PPSU）の原料として使用されております。

また、ビスフェノールFを使用したエポキシ樹脂は土木・建設材料用途に使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、ビスフェノールの販売は低迷を続けていたLCP向けが復調し、PPSU向けも好調に推移したことから増加しました。ビスフェノールFの販売も好調であったことから売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は6,007百万円（前年同四半期比13.8%増）、総売上高に占める割合は41.0%となり、セグメント利益は728百万円（同62.8%増）となりました。

#### <機能材料>

##### ・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ（液晶・有機ELディスプレイ）等の製造過程で使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、スマートフォン他、IT機器向け電材需要が引き続き堅調に推移しており、また半導体向け開発品の採用が徐々に進んだ結果、当社電子材料の販売が拡大し、売上高は前年同四半期を上回りました。

##### ・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂（自動車部品、光学・電子部品用途向け）や特殊エポキシ樹脂（半導体封止材・積層板用途向け）の原料として使用されております。

当第3四半期連結累計期間においては、光学部品用途向けを中心に各種樹脂原料等が堅調に推移したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、3,065百万円（前年同四半期比16.5%増）、総売上高に占める割合は20.9%となり、セグメント利益は417百万円（同87.6%増）となりました。

## &lt;工業材料&gt;

## ・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しており、引き続き需要は好調に推移しております。当第3四半期連結累計期間においては為替変動の影響により、売上高は前年同四半期を上回りました。

## ・受託品

受注数量が増加したため、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、工業材料部門の売上高は、5,282百万円（前年同四半期比22.7%増）、総売上高に占める割合は36.0%となり、セグメント利益は1,672百万円（同15.3%増）となりました。

## &lt;その他&gt;

販売用役等のその他セグメントの売上高は313百万円（前年同四半期比24.3%増）、総売上高に占める割合は2.1%となり、セグメント利益は17百万円（前年同四半期は68百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、現金及び預金の増加（1,014百万円）、売掛金の増加（664百万円）、商品及び製品の減少（281百万円）等により、対前年度末比1,838百万円増加し、17,037百万円となりました。

固定資産は、対前年度末比344百万円増加し、10,596百万円となりました。

この結果、資産合計は、対前年度末比2,183百万円増加し、27,633百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（590百万円）、長期借入金の減少（239百万円）等により、対前年度末比530百万円増加し、8,670百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（980百万円）、非支配株主持分の増加（311百万円）等により、対前年度末比1,652百万円増加し、18,963百万円となりました。

この結果、自己資本比率は60.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月14日に公表しました業績見通しの数字について、本日発表の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」にて、以下の通り修正しております。

## ①通期業績予想の修正について

当第3四半期連結累計期間の営業利益が当初の予想を上回って推移し、また今後も自動車用特殊ビスフェノールや半導体関連の電子材料、ビスフェノールの堅調な需要が継続する見込みであることから、当社グループの平成30年3月期通期の業績は、前回発表の予想よりも増収・増益となる見通しです。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,900	2,500	2,400	1,200	104.56
今回修正予想(B)	20,000	3,000	2,900	1,500	130.70
増減額(B-A)	1,100	500	500	300	
増減率(%)	5.8	20.0	20.8	25.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	17,373	2,047	2,003	986	86.00

②期末配当予想の修正について

当社は、株主への利益還元を経営上の重要な施策として位置付けており、財務体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実を図りながら、中長期的な視点で業績に応じた利益還元及び安定的な配当を行うことを基本方針としております。

上記基本方針および最近の業績動向を踏まえ、一株当たり期末配当予想を平成29年11月14日公表の16円から18円に修正いたします。すでに、平成29年12月1日に一株当たり10円の間配当を実施しておりますので、一株当たりの年間配当予想は、2円増加の28円になります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
30年3月期	—	10.00	—		
30年3月期(予想)				18.00	28.00

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した予想であり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,313	7,327
売掛金	4,691	5,355
商品及び製品	3,016	2,735
仕掛品	270	265
原材料及び貯蔵品	645	1,072
その他	261	281
流動資産合計	15,199	17,037
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,714	7,108
その他(純額)	2,685	2,679
有形固定資産合計	9,400	9,788
無形固定資産	48	40
投資その他の資産	803	768
固定資産合計	10,251	10,596
資産合計	25,450	27,633
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,714	2,305
短期借入金	1,958	1,539
未払法人税等	307	437
役員賞与引当金	15	11
その他	1,120	1,597
流動負債合計	5,116	5,892
固定負債		
長期借入金	239	—
役員退職慰労引当金	55	25
退職給付に係る負債	1,797	1,869
その他	930	882
固定負債合計	3,023	2,778
負債合計	8,139	8,670



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	12,892	13,872
自己株式	△14	△14
株主資本合計	15,391	16,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	78
為替換算調整勘定	△90	199
退職給付に係る調整累計額	△50	1
その他の包括利益累計額合計	△80	280
非支配株主持分	1,999	2,311
純資産合計	17,311	18,963
負債純資産合計	25,450	27,633

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	12,464	14,668
売上原価	9,570	10,864
売上総利益	2,894	3,804
販売費及び一般管理費	1,386	1,417
営業利益	1,507	2,386
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
為替差益	0	12
受取補償金	24	—
その他	5	4
営業外収益合計	33	21
営業外費用		
支払利息	37	33
撤去費用	6	14
固定資産除却損	15	7
事業撤退損	—	12
その他	0	2
営業外費用合計	60	69
経常利益	1,481	2,338
税金等調整前四半期純利益	1,481	2,338
法人税等	391	697
四半期純利益	1,089	1,640
非支配株主に帰属する四半期純利益	316	362
親会社株主に帰属する四半期純利益	773	1,278

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,089	1,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	18
為替換算調整勘定	△167	527
退職給付に係る調整額	60	52
その他の包括利益合計	△57	597
四半期包括利益	1,031	2,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	792	1,639
非支配株主に係る四半期包括利益	239	599

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,277	2,631	4,304	12,212	251	12,464	—	12,464
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,277	2,631	4,304	12,212	251	12,464	—	12,464
セグメント利益又は セグメント損失(△)	447	222	1,450	2,120	△68	2,051	△543	1,507

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△543百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△543百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,007	3,065	5,282	14,335	313	14,668	—	14,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,007	3,065	5,282	14,335	313	14,668	—	14,668
セグメント利益	728	417	1,672	2,818	17	2,836	△449	2,386

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△449百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△449百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。